

あ と が き

約10年近く編集委員をさせていただいた。この間に、量質ともに世界に誇れるJENDL-3.2が完成したことがなんといってもトップニュースといえる。ENDF/B (アメリカ)を目標に、シグマ委員会を通して、30年もの長い間多くの各界の人々が協力してきた希にみる研究成果といえる。しかし、皮肉なことに、ENDF/B-VIを凌駕した今、原子力は追い風から向かい風へと風向きが変わってしまった。核データもこの逆風を受けて、新たな航路を模索している。世界のトップに立った今、道は日本が切り開いていかなければならない時にきている。核データにもグローバルな視点をとらえた新たな出発が求められている。

編集委員会も、委員長が中川さんから柴田さんに、私も出向から戻られた長谷川さんにバトンタッチして、新たな出発をすることとなった。核データニュースの一層の発展を期待する次第である。

高野秀機

takano@mike.tokai.jaeri.go.jp

核データニュース編集委員会

柴田 恵一 (委員長、原研)、井頭 政之 (東工大)、岩本 修 (原研)、
喜多尾 憲助 (データ工学)、高田 弘 (原研)、長谷川 明 (原研)、
吉田 正 (武蔵工大)